



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 トーモク

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-3213-6811

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	68,790	7.0	2,077	205.0	2,500	155.6	1,316	324.9
25年3月期第2四半期	64,263	7.7	681	8.4	978	7.7	309	△42.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,863百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.08	—
25年3月期第2四半期	3.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	119,738	49,566	39.9
25年3月期	115,464	48,017	40.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 47,829百万円 25年3月期 46,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	5.3	8,300	22.9	8,500	18.6	4,500	19.6	48.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	96,707,842 株	25年3月期	96,707,842 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,231,380 株	25年3月期	3,225,143 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	93,479,801 株	25年3月期2Q	93,498,788 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に輸出環境や企業収益の改善がみられ、個人消費が底堅く推移するなかで出遅れていた設備投資も持ち直しつつあります。然しながら欧州債務問題、新興国経済の動向、米国経済の回復ペースや財政問題などの今後の展開によっては日本経済に大きな影響を与えるものと考えられます。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は68,790百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益は2,500百万円（前年同期比155.6%増）、四半期純利益は1,316百万円（前年同期比324.9%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、加工食品、青果物などの食品向けや通販・宅配向けが堅調に推移し、前年を上回りました。

当社グループの段ボール生産量の伸び率は、前年を上回る水準で推移しました。当社の主力工場である館林工場では物流体制の整備を行って加工の月産2,000万㎡体制を敷くとともに労働環境に配慮した防暑対策を中心とした工場の環境整備を行い、岩槻工場ではエントランス等周辺環境の大幅な整備を実施しました。大ーコンテナーでは工場棟等を刷新するとともに新たに高性能の印刷機を導入し生産能力の増強と品質面の強化をはかりました。

段ボールの売上高は41,648百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は3,969百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

〔住宅〕

住宅市場においては、住宅の安全・安心、非常時のエネルギー確保に対する関心が高いことや雇用や所得環境の改善などに加え金利や地価の先高観や消費増税を見越した住宅投資への意欲の高まりにより新設住宅着工戸数も堅調に推移しました。

スウェーデンハウスでは木製サッシ3層ガラス窓に代表される高い断熱性と気密性による省エネ性能をアピールし、紹介受注など販売体制の強化に努めた結果、販売棟数は前年同期比23.5%伸長しました。売上高は15,975百万円（前年同期比23.8%増）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は2,430百万円（前年同期は営業損失3,069百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、夏場の猛暑により東日本エリアの飲料部門を中心として取扱量が増加し、売上高は11,166百万円（前年同期比2.1%増）となりました。不採算事業の見直し等の経営の効率化をはかった結果、営業利益は794百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や有形固定資産等の増加により前連結年度末比4,274百万円増加し119,738百万円となりました。

負債は、長期借入金等の増加により前連結年度末比2,724百万円増加の70,171百万円となり、純資産の部は利益剰余金の増加などにより前連結年度末比1,549百万円増加の49,566百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、製品の需要や原材料価格の動向等を総合的に判断して平成25年5月7日に発表いたしました業績予想の達成に引続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,575	11,564
受取手形及び売掛金	25,222	26,030
たな卸資産	9,873	12,668
その他	3,974	5,245
貸倒引当金	△33	△65
流動資産合計	54,611	55,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,297	16,256
機械装置及び運搬具(純額)	12,353	12,108
土地	18,676	20,165
その他(純額)	1,711	1,632
有形固定資産合計	48,039	50,162
無形固定資産		
投資その他の資産	454	425
投資有価証券	8,303	9,558
その他	4,379	4,475
貸倒引当金	△324	△327
投資その他の資産合計	12,358	13,706
固定資産合計	60,852	64,294
資産合計	115,464	119,738

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,549	14,472
短期借入金	3,206	3,202
1年内返済予定の長期借入金	8,949	7,633
未払法人税等	2,107	1,640
賞与引当金	1,805	1,765
その他の引当金	392	326
その他	9,482	11,243
流動負債合計	41,492	40,283
固定負債		
長期借入金	17,566	21,349
退職給付引当金	2,921	2,999
その他の引当金	660	591
その他	4,806	4,947
固定負債合計	25,954	29,888
負債合計	67,446	70,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	21,376	22,412
自己株式	△669	△671
株主資本合計	45,515	46,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	903	1,177
繰延ヘッジ損益	190	168
為替換算調整勘定	△152	△67
その他の包括利益累計額合計	941	1,279
少数株主持分	1,560	1,737
純資産合計	48,017	49,566
負債純資産合計	115,464	119,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	64,263	68,790
売上原価	52,469	54,981
売上総利益	11,794	13,809
販売費及び一般管理費	11,113	11,731
営業利益	681	2,077
営業外収益		
受取利息及び配当金	89	92
持分法による投資利益	329	316
雑収入	230	286
営業外収益合計	649	695
営業外費用		
支払利息	219	140
雑損失	133	131
営業外費用合計	352	272
経常利益	978	2,500
特別利益		
保険差益	22	133
特別利益合計	22	133
特別損失		
固定資産処分損	69	111
投資有価証券評価損	187	9
減損損失	19	9
その他	6	—
特別損失合計	283	130
税金等調整前四半期純利益	716	2,503
法人税、住民税及び事業税	1,457	1,681
法人税等調整額	△942	△696
法人税等合計	515	984
少数株主損益調整前四半期純利益	201	1,518
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△108	202
四半期純利益	309	1,316

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201	1,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	277
繰延ヘッジ損益	△107	△21
為替換算調整勘定	△87	91
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	△404	345
四半期包括利益	△202	1,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88	1,654
少数株主に係る四半期包括利益	△114	209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,431	12,900	10,931	64,263	—	64,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	252	5	1,678	1,936	△1,936	—
計	40,683	12,905	12,610	66,200	△1,936	64,263
セグメント利益又は損失(△)	3,396	△3,069	709	1,036	△355	681

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△355百万円には、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△379百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,648	15,975	11,166	68,790	—	68,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	156	25	1,800	1,982	△1,982	—
計	41,804	16,000	12,967	70,772	△1,982	68,790
セグメント利益又は損失(△)	3,969	△2,430	794	2,333	△255	2,077

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△255百万円には、セグメント間取引消去134百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△390百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。